



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月28日

上場会社名 アルビス株式会社

上場取引所 東

コード番号 7475 URL <https://www.albis.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 石田 康洋

TEL 0766-56-7200

四半期報告書提出予定日 2023年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	23,840	2.4	485	21.3	648	14.4	421	17.8
2023年3月期第1四半期	23,280	3.6	616	4.2	757	4.0	512	6.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 477百万円 (13.9%) 2023年3月期第1四半期 554百万円 (46.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	48.50	
2023年3月期第1四半期	58.53	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	46,980	30,504	64.9	3,527.19
2023年3月期	48,004	30,569	63.7	3,494.36

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 30,504百万円 2023年3月期 30,569百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		35.00		35.00	70.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,296	2.7	646	40.6	885	34.1	573	35.9	65.59
通期	97,467	3.0	1,554	19.8	2,025	17.5	1,257	25.3	143.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	9,255,926 株	2023年3月期	9,255,926 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	607,559 株	2023年3月期	507,559 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	8,681,700 株	2023年3月期1Q	8,748,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会決期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類変更により、行動制限が大きく緩和され、社会経済活動は国内需要を中心に回復への動きが見られました。一方、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引き締め、資源価格・原材料価格の高留まり等、依然として経済の下振れリスクが存在し、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、一部で賃金の増加が見られる一方、これを上回る物価上昇が生じており、生活防衛的な節約志向が強まっているほか、業種業態を超えた競争激化や人件費上昇、原材料価格・電気料等の高騰により、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「食を通じて地域の皆様の健康で豊かな生活に貢献します」との企業理念のもと、3年目となる「第三次中期経営計画（第55期～第57期）」では、「地域一番のお客様満足の実現」を中期経営方針に掲げ、「お客様の多様なニーズへの対応」「従業員が挑戦できる環境の実現」「業務基盤の活用による生産性の向上」「事業を通じた地域社会の課題解決」を重点課題とし、以下の施策に取り組んでおります。

「お客様の多様なニーズへの対応」については、健康志向・時短ニーズに応える商品拡充、節約志向に対応するPB商品の販売強化施策実施のほか、同質化競争からの脱却を図る一施策として特徴ある名物商品の開発に取り組んでおります。また、5月に高原町店、6月に西南部店を改装し、商品構成の見直しや品揃えの充実等を図り、お客様の利便性の向上に努めております。

「従業員が挑戦できる環境の実現」への取り組みとして、これまで実施してきた新入社員から経営幹部までの各階層に応じた教育プログラムに加え、DX人材の育成に向けた研修やカフェテリア研修を実施するなど、社員自らがキャリアプランを描ける環境を創出し、次世代の人材発掘に取り組んでおります。

「業務基盤の活用による生産性の向上」については、一部店舗において昨年試験的に導入したキャッシュレスセルフレジ・電子棚札の効果を検証し、導入店舗を拡大してまいります。また、プロセスセンターにおいては、継続的な製造工程の見直しと原価率の改善に努めております。物流面では、従来より配送効率の向上を図っておりますが、「2024年問題」に対応した持続可能な物流体制の構築を目指し、さらなる改善による運行数減少を進めております。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、「つなぐアルビス」をコミュニケーションメッセージに掲げ、地域・行政と連携し、地域社会の課題解決に取り組んでおります。当社では食品ロス削減への活動に注力し、「リレーフードドライブ活動」に継続的に取り組むとともに、店舗常設型の無人フードドライブボックスの設置に取り組んでおり、5月には射水市と連携し、大島店でリレーフードドライブを実施しております。また、お買物支援と地域の見守りに取り組む「移動スーパー」は当第1四半期末現在19台で運行しております。

2050年の脱炭素社会実現の一環として、温室効果ガス（GHG）の測定のほか、SDGs目標達成へ向けた環境保全への活動を「albis Green Action」と総称し取り組んでおります。本活動では、従来からのトレイ・ペットボトル回収などのリサイクル事業に加え、昨年は、レジ袋をバイオマス50%使用へ変更し、太陽光パネルを美濃加茂店（岐阜県美濃加茂市）に設置するなど、サステナブルな生活提案と環境負荷軽減に寄与しております。当年も複数店における太陽光パネル設置を計画するなど、更なるGHG削減を目指してまいります。

新店につきましては、2023年11月に愛知県名古屋市内において中部エリア3店舗目となる「北区金田店」の出店を予定しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、前期新店2店舗による売上増加により、営業収益23,840百万円（前年同期比2.4%増）となりました。利益面では、高利益商品の販売拡大とプロセスセンターの原価改善等により売上総利益率が改善（前年同期比0.3%増）したものの、前期第2四半期から高騰した電気料の影響を受け、営業利益485百万円（前年同期比21.3%減）、経常利益648百万円（前年同期比14.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益421百万円（前年同期比17.8%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,024百万円減少し、46,980百万円となりました。

この主な原因は現金及び預金の減少額587百万円、有形固定資産の減少額162百万円、投資その他の資産の減少額151百万円等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ959百万円減少し、16,475百万円となりました。

この主な原因は買掛金の減少額206百万円、未払法人税等の減少額333百万円、賞与引当金の減少額340百万円、流動負債その他の増加額478百万円、長期借入金の減少額398百万円等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少し、30,504百万円となりました。

この主な原因は親会社株主に帰属する四半期純利益421百万円、配当金306百万円、自己株式の取得236百万円、その他有価証券評価差額金の増加額56百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年4月28日に「2023年3月期決算短信」で公表しました内容に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,144	5,557
売掛金	2,496	2,399
商品	2,423	2,483
原材料及び貯蔵品	153	159
その他	1,326	1,270
貸倒引当金	△78	△78
流動資産合計	12,465	11,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,221	15,970
土地	11,357	11,357
その他（純額）	2,472	2,561
有形固定資産合計	30,051	29,889
無形固定資産		
のれん	53	40
その他	759	734
無形固定資産合計	812	775
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,535	3,466
その他	1,461	1,340
貸倒引当金	△321	△281
投資その他の資産合計	4,675	4,524
固定資産合計	35,538	35,189
資産合計	48,004	46,980
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,505	5,299
1年内返済予定の長期借入金	1,731	1,663
未払法人税等	430	97
賞与引当金	660	320
その他	3,989	4,467
流動負債合計	12,317	11,848
固定負債		
長期借入金	2,474	2,076
受入敷金保証金	735	720
資産除去債務	900	893
その他	1,006	936
固定負債合計	5,116	4,626
負債合計	17,434	16,475

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908	4,908
資本剰余金	5,633	5,633
利益剰余金	21,221	21,335
自己株式	△1,232	△1,469
株主資本合計	30,529	30,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	96
その他の包括利益累計額合計	40	96
純資産合計	30,569	30,504
負債純資産合計	48,004	46,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	23,003	23,561
売上原価	16,317	16,642
売上総利益	6,685	6,918
不動産賃貸収入	277	278
営業総利益	6,963	7,197
販売費及び一般管理費	6,346	6,712
営業利益	616	485
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	11	12
受取手数料	9	10
受取販売奨励金	48	57
その他	89	101
営業外収益合計	162	184
営業外費用		
支払利息	6	6
出向者給与	14	14
その他	0	0
営業外費用合計	21	21
経常利益	757	648
税金等調整前四半期純利益	757	648
法人税、住民税及び事業税	55	58
法人税等調整額	190	169
法人税等合計	245	227
四半期純利益	512	421
親会社株主に帰属する四半期純利益	512	421



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	512	421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	56
その他の包括利益合計	42	56
四半期包括利益	554	477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	554	477
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2023年5月30日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

1. 自己株式の取得に係る決議内容

（1）自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

（2）取得に係る事項の内容

①取得する株式の種類	当社普通株式
②取得する株式の数	150,000株（上限）
③株式取得価額の総額	354,900,000円（上限）
④取得日	2023年5月31日
⑤取得の方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付け

2. 自己株式の取得結果

上記買付による取得の結果、2023年5月31日に当社普通株式100,000株を236,600,000円で取得いたしました。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。